感染予防にかかる抗体価検査について

保健医療学部長
楠本　智章

この度は本学へのご入学おめでとうございます。教職員一同、心よりお祝い申し上げます。

さて、本学医療系学部では学内実習だけでなく、医療施設などにおいて学外実習も実施しております。その準備として、学生の皆さんと医療施設のスタッフおよび患者さんを守るため、感染予防対策へのご協力をお願いしたく、お知らせいたします。

本学では、国立感染症研究所が定めた「医療機関での麻疹対応ガイドライン」等に準じて対応をいたします。上記ガイドラインには、医療施設で実習を行う実習生を医療従事者と同等に感染の危険がある者として、血中抗体価測定を行い、その結果に基づくワクチン接種の必要性が述べられています。さらに、抗体価や予防接種歴の有無についても、“記憶”ではなく“記録に基づく正しい情報”を基にすることが勧告されています。

医療施設において、皆さんが麻疹や水痘に感染してしまうと、自身の学外実習ができなくなるだけではなく、何よりも患者さんや施設のスタッフの皆さんに対して、多大な影響を及ぼしてしまうことを忘れてはいけません。また、数年前には風疹が全国的に流行し、多くの人の風疹抗体価が陰性であったことが問題視されたこともあります。このため、皆さんには以下の事項を徹底していただきますようお願いいたします。

第一段階として、**同封の「感染症関連記録表」のとおり、ご入学までに検査を受けてください。提出されない場合、医療施設での学外実習に参加することができず、学部・学科によっては進級・卒業できない場合があります。**保護者の方には金銭的ご負担をおかけしますが、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

第二段階として、抗体価陰性などワクチン接種の必要があると判断された場合には、ワクチン接種をお願いすることになります。**ワクチン接種に関しましては、入学宣誓式翌日の新入生ガイダンスで改めてご説明いたしますので、入学前にワクチンを接種する必要はございません。**

過去に感染したことがある、あるいはワクチン接種を受けたことがある場合でも、時間の経過に伴い免疫が低下し、再度ワクチン接種が必要となる場合があります。また、学外実習受入機関によっては実習直前に新たな検査が必要な場合もあります。新入生の皆さんや保護者の皆さんにはご負担をおかけすることになりますが、趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

これからの大学生活に向けて、期待と不安の気持ちを抱いている方も多いかと思います。ご不明な点やご不安なことがございましたら、ご遠慮なく、教員・事務職員へお声がけください。

【検査方法について】

●「麻疹」「風疹」「水痘・帯状疱疹」「流行性耳下腺炎」に関して

近くの病院や医院（クリニック）などで、「麻疹（はしか)」「風疹（三日ばしか)」「水痘・帯状疱疹（みずぼうそう)」「流行性耳下腺炎（おたふくかぜ)」の抗体の保有状況を確認するための血液検査を受けてください。血液検査の方法は、**感度が高い方法「酵素抗体法（EIA 法)」を必ず指定してください。**

●「B 型肝炎」に関して

近くの病院や医院（クリニック）などで、**HBs 抗原（CLIA 法または CLEIA 法)、HBs 抗体（CLIA 法または CLEIA 法）**の血液検査を受けてください。

●「C 型肝炎」に関して

近くの病院や医院（クリニック）などで、**HCV 抗体（第 3 世代または CLEIA 法）**の血液検査を受けてください。

【提出日等について】

本検査は入学宣誓式までに完了し、記録表を自分で保管してください。入学宣誓式（4 月 3 日（土))の翌週に実施する新入生ガイダンスにおいて、教員から提出日やワクチン接種、検査ができていない場合などの指示がありますので、その指示に従ってください。

その他、不明な点や不安なことがございましたら、東広島キャンパス１号館２階 保健医療学部事務室（TEL 0823-70-4611 、平日 9:00～17:00）へご連絡ください。

以上